

議員提出第3号議案

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会における自転車競技（ロードレース）の稲城市内を通過するコース設定に関する意見書

上記の議案を提出する。

平成28年6月30日

提出者	稲城市議会議員	北 浜 けんいち
賛成者	〃	つのじ 寛 美
〃	〃	榎 本 久 春
〃	〃	佐々木 あきら
〃	〃	藤 原 愛 子
〃	〃	山 岸 太 一
〃	〃	坂 田 たけふみ
〃	〃	鈴 木 誠

（提案理由）

多くの市民が自転車ロードレースのコースに稲城市内を通過するコース設定を期待している。また、オリンピック・パラリンピック競技大会の開催は、スポーツ振興のみならず、地域社会の活力及び地域経済の活性化につながるため。

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会における自転車競技
(ロードレース)の稲城市内を通過するコース設定に関する意見書

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の東京開催が決定され、日一日と準備が進んでいる。この東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催は、スポーツの振興のみならず、地域社会の活力及び地域経済の活性化につながるものと大いに期待している。

さて、オリンピックの種目の中でも自転車競技(ロードレース)については、平成25年の立候補ファイル提出時には、稲城市内を通るコースが設定され、市内の公道がオリンピックコースになることを、市民一同大変期待している。その後、平成27年12月のIOC総会において、この種目のスタートとゴールが皇居外苑に決定され、いよいよコースの選定に移ると聞く。

稲城市は都心からのアクセスも良く、かつ緑豊かな丘陵地帯であり、市内の多摩丘陵を通る公道は、「尾根幹線」に代表されるような見晴らしが良く、緑地や歩道が十分整備されている。また、川崎街道の「通称連光寺坂」などは、アップダウンのある道となり、連日多くの自転車愛好家が練習に訪れるなど、自転車競技に最適な環境にあり、大会成功が期待できる。

よって稲城市議会は、東京都及び公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会に対し、自転車競技(ロードレース)のコース設定にあたっては、稲城市内を通過するコースの設定を強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

平成28年6月30日

稲城市議会議長 原 島 茂

東京都知事、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会会長 殿